

VI 計画実現の方策

1 町民と行政が一体となったまちづくり

町民意識調査の実施【新規】 348万円

(担当：まちづくり政策課 住民協働推進係)

町民意識調査は、津和野町の行政施策に関する重要度や満足度、住民と行政の協働のまちづくりを推進する上で実施する予定の行政評価制度等の取り組みなどに関して、今後の町政運営の基礎資料を得る目的で平成22年度から実施するものです。

町民意識調査は、津和野町に住所を有する20歳以上90歳未満の住民1,000人程度を無作為に抽出し、調査票の郵送送付・郵送回収による方法で9月末を目標として実施します。

■主な経費

データ集計・解析委託料、郵券料等 348万円

財源

国・県の補助金	181万円
町の負担額	167万円

地域課題等概要調査の実施【新規】 93万円

(担当：まちづくり政策課 住民協働推進係)

地域課題等概要調査は、住民と行政の協働のまちづくりを推進するため、地域の活動実態や抱えている課題、自治会の必要性や集落再編、今後導入を予定している職員の地域担当制度における職員の役割など地域課題等を把握することを目的として、平成22年度に実施するものです。

地域課題等概要調査は、自治会が組織されている地域に対しては、全自治会を対象として当該地域等に住所を有する職員の聞き取り調査により実施し、自治会が組織されていない地域に対しては、当該全世帯を対象として調査票の郵送による調査を実施します。

調査結果につきましては、職員の地域担当制度の導入や自治会等提案型支援事業の創設、集落支援員の設置など、住民と行政の協働のまちづくりを推進するための基礎資料として活用します。

■主な経費

印刷製本費、郵券料等 93万円

財源

国・県の補助金	60万円
町の負担額	33万円

住民と行政の協働プロジェクト推進会議の設置【新規】 84万円

(担当：まちづくり政策課 住民協働推進係)

住民と行政の役割分担を検討する組織として、住民と行政の協働プロジェクト推進会議を平成22年度に設置します。

住民と行政の協働プロジェクト推進会議は、住民及び職員等により構成し、町民意識調査や地域課題等概要調査結果を基に、住民が行う施策と行政が行う施策を具体的に検討した上で、住民と行政の協働のまちづくりを推進するための住民自治基本条例（仮称）の素案を作成します。

■主な経費

報償費、費用弁償等 84万円

財源

県の補助金	42万円
町の負担額	42万円

行政評価制度の構築【新規】

0万円

(担当：まちづくり政策課 住民協働推進係)

行政評価制度は、第1次津和野町総合振興計画に掲げる施策及び事務事業を評価対象として、事業の目的・目標を数値等を用いて客観的に明らかにすることで、実施結果の達成度を検証し、必要性・妥当性などの評価を行い、当該事業の進捗状況の管理及び今後に向けた改革・改善を図っていく制度です。

行政評価制度は、平成23年度試行実施を目標として、平成22年度中に制度設計を完了する予定です。

なお、必要性・妥当性などの評価及び今後に向けた改革・改善策につきましては、平成24年度から行政モニター制度を導入し、住民等による第三者評価を実施します。

男女共同参画社会の推進

37万円

(担当：まちづくり政策課 住民協働推進係)

津和野町男女共同参画推進条例に基づき、男女共同参画社会の実現を目指します。実現に向け、講演会等を開催し啓発を行います。

■主な経費

推進委員報酬・費用弁償	25万円
講演会講師謝金	8万円
その他経費	4万円

財源

町の負担額 37万円

広報「つわの」の発行

286万円

(担当：営業課 広報公聴係)

官民協働のまちづくりをめざし、広報をわかりやすく、親しみのある情報誌としてみなさまにお届けします。また、町では、さまざまな広報手段をもって町民の皆さんや町外におられる津和野出身者の方々のご意見やご提案もいただきながら、まちづくりを考えるきっかけとなる情報を提供します。

■発行部数 : 4,000部 ページ数 : 16~20ページ

■主な経費

広報誌の印刷	195万円
パソコン・ソフト導入	62万円
カレンダー用紙	17万円
その他	12万円

財源

広告・購読料外 31万円
町の負担額 255万円

ホームページ開設

39万円

(担当：営業課 広報公聴係)

町民の皆様をはじめ、全国に向けた津和野町の顔、窓口として、わかりやすく、常に新しい情報の提供ができるよう努めてまいります。

■主な経費

プロバイダー使用料	20万円
ホームページ更新委託料	19万円

財源

町の負担額 39万円

ふるさと納税制度の推進【新規】**40万円**

(担当：営業課 歳入強化係)

町外におられる津和野町出身者の方々等への情報発信を図ると共に、津和野町をふるさと納税制度で応援して下さったの方々に対し、お礼と感謝の意を込めてふるさと自慢の特産品をお送りします。

■主な経費

特産品料など	29万円
印刷代	11万円

財源

町の負担額 40万円

新過疎計画の策定【新規】**13万円**

(担当：営業課 情報戦略係)

過疎法の失効期限の延長に伴い、今年度より平成27年度までの向こう6年間の計画を策定します。特にこの度は従来からのハード事業（道路建設や建物の建築等）に加え、地域医療の確保、住民に身近な生活交通の確保、集落の維持及び活性化など、住民の安全・安心な暮らしの確保を図るためのソフト事業が新たに認められましたので、委員会を設置し計画の策定を行います。

■主な経費

計画策定委員報酬、旅費	13万円
-------------	------

財源

町の負担額 13万円

県民手帳の斡旋**13万円**

(担当：営業課 広報公聴係)

島根県が作成する県内各市町村の情報が入った手帳を皆さんに斡旋販売をいたします。

尚、津和野町のさまざまな資料等の配布を行っていただいております嘱託員の皆様には無料で差し上げております。

■斡旋冊数 : 270冊**■主な経費**

県民手帳購入	13万円
--------	------

財源

県民手帳販売	5万円
町の負担額	8万円

まちづくり出前講座**0万円**

(担当：営業課 広報公聴係)

町民の皆様等で構成される5人以上の団体からの要請に基づき、町の職員等を講師として派遣し、町政に関する説明、専門知識を活かした講習等を行います。みなさまの積極的なご活用をいただき、まちづくりへの参画につながっていかれたらと思います。

■開催日 年間（但し、12月30日～1月4日を除く）**■時間** 9時～21時の間で連続した2時間以内**■申込み** 開催日の20日前までにお申し出ください。【申請書をお送りします。】

戸籍・住民票および総合窓口に関する事務経費

288万円

(担当：税務住民課 住民係・総合窓口係)

戸籍・住民票・印鑑証明・パスポートなどの届出、申請の受付や発行事務を行います。

また、津和野庁舎にある福祉事務所、健康保険課、農林課、環境生活課の本庁舎窓口を行います。

■主な経費

戸籍事務研修参加費	14万円
参考図書などの購入費	30万円
諸証明用の用紙購入費	39万円
公的個人認証サービス窓口端末機更新経費（2台分）	137万円
その他事務経費	68万円

財 源

戸籍・住民票・印鑑証明等手数料	540万円
外国人登録事務委託金	14万円
人口動態調査委託金	2万円
公的認証事務等交付金	33万円
津和野町の負担	△301万円

議 会

4,132万円

(担当：議会事務局)

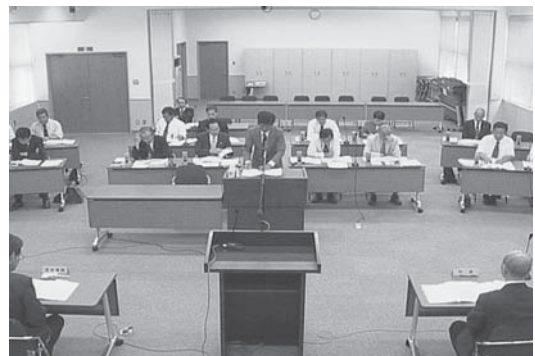
議会は、地方自治体の基本事項を決定（議決）する団体意思の決定機能と、執行機関を監視・評価する役目を持っています。議員数は16名で、年4回開催される定例会や臨時会等において、町長や住民の方から提出された議案・請願等の審議を行っています。また、必要に応じて常任委員会や特別委員会等を開催し、町における様々な問題点等の審議も行っています。

議会活動としては、「議会だより」を年4回（5月、7月、10月、2月）発行し、町内全戸に配布します。主な内容は定例会、臨時会での一般質問や審議内容についての報告です。

また今年度は、他市町村が取り組んでいる先進的な事例調査等を目的とする議会議員の行政視察研修を予定しています。

■主な経費

議員報酬	4,017万円
議 長（月報酬）	280,000円
副議長（ " ）	236,000円
委員長（ " ）	207,000円
議 員（ " ）	197,000円
議会だより印刷代	76万円
視察研修旅費	39万円



財 源

町の負担額	4,132万円
-------	---------

監査委員会

83万円

(担当：議会事務局)

監査委員は町の財産に関する事務の執行及び町の経営に関する事業の管理について、公正不偏の立場から監査を行う独立した執行機関です。委員は2名で、町長が議会の同意を得て選任した、識見を有する委員及び議員から選任された委員で構成されています。

委員の職務は、地方自治法や地方公営企業法で各種の監査や審査、検査を行うこととされ、毎月の例月出納検査や定例監査、決算監査、財政援助団体等の監査を行っています。

■主な経費

委員報酬	83万円
識見委員（日報酬）	9,700円
議選委員（"）	7,800円

財源

町の負担額	83万円
-------	------

統計調査にかかる経費

604万円

(担当：地域振興課 地域振興係)

今年度の統計調査は、5年ごとに行われる国勢調査をはじめ、次の4つの調査・事務を行ないます。

- ①工業統計調査 ②経済センサス ③国勢調査 ④教育統計調査

■主な経費

調査員報酬	507万円
郵券料外	35万円

財源

国からの委託金	604万円
---------	-------

ケーブルテレビ事業費

2億4,250万円

(担当：地域振興課 地域振興係)

ケーブルテレビ事業は、通常のテレビ放映はもちろんのことですが、告知放送によるお知らせや緊急・災害時の連絡、インターネットの高速通信サービス、山間部での携帯電話の不感地域解消など、町民の皆さんが安心して暮らせるための施設として、重要な役割を果たしています。

また、この事業は、加入者の皆さん一人ひとりの使用料によって運営されています。

加入状況

ケーブルテレビ	3,654件
インターネット	1,022件

■主な経費

インターネット事業	2,200万円
伝送路管理費用	1,089万円
光熱水費	250万円
修繕料	982万円
番組受信料	467万円
土地・電柱等借上料	849万円
告知端末機交換工事費	11,500万円
デジタル化等対策費	620万円

財源

国の補助金	280万円
使用料収入	9,427万円
広告料等	130万円
町の借金（工事費）	1億,950万円
町の負担額	2,775万円
その他収入	688万円

VI 計画実現の方策

2 行財政運営

町債・一時借入金償還金（借金の返済） 21億2,264万円

（担当：総務財政課 財政係）

町では、道路や施設を整備するときなどに、国や金融機関などから「町債」と呼ばれる借金をすることがあります。町債は、一度に借り入れる額も高額なことから、長い期間（数年～30年）をかけて返済します。一方、町では日々の資金繰りの中で数日というごく短期の借金「一時借入金」をすることもあります。

本町の財政的困難度のピークは過ぎたと予測しておりますが、財政健全化判断比率4指標の中でも特に、実質公債費比率、将来負担比率はまだ警戒ライン内であり、財政計画については常に見直しを行い、適切な対応が出来るように努めているところであります。このような中で、町債返済経費の中には、繰り上げ償還にかかる経費も含んでいます。

※町債には、返済額の一部又は全額が地方交付税として国から補てんされるものがあります。そのため、町では借金をする際、最も補てん率の高い制度資金を選択するように努めています。

■主な経費

借金の元金返済分	19億1,077万円
借金の利子返済分	2億1,087万円
一時借入金利子返済	100万円

財源

町の負担額 21億2,264万円

予算説明書の発行 【新規】 30万円

（担当：営業課 広報公聴係）

住民参加による協働のまちづくりを構築するための施策の一つとして、今年の町の予算をわかりやすく説明したものを全世帯にお届けします。

■発行部数 : 3,750部 ページ数 : 120ページ

行政事務情報化経費 8,498万円

（担当：総務財政課）

効率的かつ迅速な事務処理を行うため、多くの業務に導入しているコンピュータシステムの開発経費及び維持管理経費です。

特に今年度は、新たな制度への対応や、将来の電子自治体に対応していくため総合行政システムを更新します。予算としては、5カ年のリースとして計上しています。

■主な経費

総合行政システムバージョンアップ経費	5,133万円
総合行政システム利用料	2,400万円
総合行政システム機器保守料	351万円
その他関連機器保守料	171万円
電算室セキュリティ管理委託料	68万円
島根県電子自治体共同利用システム運営協議会負担金	35万円
その他経費	340万円

財源

町の負担額 8,498万円

税金の課税や納税に関する事務経費 1,157万円

(担当：税務住民課 賦課徴収係)

町民税や固定資産税などの税金を課税したり、納めていただいたりするための経費です。

■主な経費

人件費（臨時職員）	29万円	土地鑑定評価委託料	730万円
参考図書などの購入費	30万円	町税還付金	200万円
納税通知書などの印刷費	125万円	その他事務経費	72万円

※土地鑑定評価委託料は、平成23年度が3年に一度の評価替えの年になりますのでその準備のための経費です。

財源	
町の負担額	1,157万円

役場庁舎維持管理 1,122万円

(担当課 総務財政課)

役場庁舎の電話料、高熱水費、修繕料などです。

■主な経費

高熱水費	650万円
電話料	288万円
修繕料	33万円
その他維持管理料	151万円

財源	
町の負担額	1,122万円

津和野町議会議員一般選挙・参議院議員通常選挙 2,726万円

(担当：選挙管理委員会)

今年度は、津和野町議会議員一般選挙と参議院議員通常選挙が予定されています。

選挙の期日や投票所等については、別途各ご家庭へ文書を配付します。

■主な経費

○津和野町議会議員一般選挙

投票管理者や投票立会人などへの報酬	177万円
選挙事務関係職員の時間外勤務手当など	535万円
ポスター掲示場の作成・設置などの委託料	453万円
その他の経費（郵送料や印刷費など）	310万円

○参議院議員通常選挙

投票管理者や投票立会人などへの報酬	246万円
選挙事務関係職員の時間外勤務手当など	619万円
ポスター掲示場の作成・設置などの委託料	156万円
その他の経費（郵送料や印刷費など）	230万円

参議院議員通常選挙に必要な経費は国が負担します。



財源	
国の負担額	1,251万円
町の負担額	1,475万円

津和野町議会議員一般選挙開票（日原小屋体）

役場職員の給与

10億3,064万円

(担当：総務財政課 総務係)

町長、副町長、教育長の特別職のほか、役場職員の給与、各手当（時間外勤務手当を除く）の支給とその管理を行うための経費です。

なお、職員の給与は平成21年度に引き続き自主削減を実施しています。

■主な経費

特別職給与費等	2,565万円
特別職共済費	1,096万円
職員給与費等	7億442万円
職員共済費等	2億8,961万円

財源

町の負担額 10億3,064万円

役場庁舎の共通事務用品費

253万円

(担当：総務財政課 総務係)

役場で使用する事務用品や各種用紙類、法令関係書の加除等にかかる経費です。毎年見直しし、節減に努めています。

■主な経費

新聞、書籍	42万円
法令関係書加除	31万円
コピー用紙	120万円
事務用品	60万円

財源

町の負担額 253万円

役場庁舎の共通郵便料

843万円

(担当：総務財政課 総務係)

役場から発送する郵便や嘱託文書などの料金です。

■主な経費

郵便料	744万円
配達料	99万円

財源

町の負担額 843万円

役場庁舎のコピー機の共通経費

544万円

(担当：総務財政課 総務係)

役場庁舎内にあるコピー機5台の使用料と借上料です。

■主な経費

コピー機使用料	450万円
コピー機リース料（5台）	94万円

財源

町の負担額 544万円

VI 計画実現の方策

3 広域行政の推進

高津川流域をテーマとした取り組み

0万円

(担当：地域振興課 地域振興係)

益田広域市町村圏事務組合の綺羅星7委員会委員として以下の事業を展開

■主な事業

○高津川流域フェア ～広島県廿日市市～ 開催日 7月3・4日

流域特産品の販売や高津川漁協の取組みを後援

○高津川フォトコンテスト 締切 平成23年1月14日

高津川流域に係わる作品を募集。最優秀賞金20万円

○高津川 Sea to summit ～高津川河口から安蔵寺山頂まで～ 開催日 9月18・19日

18日 環境シンポジウム グラントワ大ホール ゲスト：C.W.ニコル氏他

19日 環境イベント Sea to summit 全国より100組が参加予定

○高津川フレンドリバー協議会 (株)モンベルにフレンドエリア登録

地元フレンドショップの紹介や高津川流域を全国に情報発信

○清流高津川流域連絡会議

流域関係団体の情報交換

○次期広域圏計画の策定

平成23年度以降の計画を
本年度策定

高津川 SEA TO SUMMIT

2010年 9月18日土・19日日 シー・トゥ・サミット 2010
— 清流高津川から安蔵寺山山頂へ —

海で発生した水蒸気が、雨や雪となって山に降り、川となって森や里を潤し、再び海へと還ってゆく…。『SEA TO SUMMIT』は、海から山へと自力で進むなかで自然の循環を体感し、自然の大切さについて考えようというイベントです。
初日(18日 土曜日)には「環境シンポジウム」と環境ライブ」、2日(19日 日曜日)には、日本海から清流 高津川をさかのぼって、島根県最高峰の安蔵寺山山頂(1,263m)までをカヤック、バイク(自転車)、ハイク(歩き)で目指します。


9月18日土 - 自然環境をもう一度考えてみませんか? -

第1部 環境シンポジウム (一般参加 入場無料)

開演 14:00 (開場 13:30) 会場 島根県芸術文化センター「グラントワ」 大ホール

14:00～
■開会式
14:20～
■基調講演(C.W.ニコル)
■パネルディスカッション

主催お問い合わせ
高津川SEA TO SUMMIT実行委員会(tel. 0856-25-7220)
※当日は時期が多少前後する可能性があります。
※また、ゲストは変更になる場合があります。



作家 ナチュラリスト C.W.ニコル
ミュージシャン 南こうせつ
海洋緑化協会キャプテン 内田正洋
アクトアライアー 天野礼子
モンベルグループ代表 辰野 勇
※ゲストのプロフィールは裏面をご覧ください。

第2部 環境ライブ (有料) 6月10日(木) プレイガイド (裏面)にて発売開始

南こうせつ トーク&ライブ ～川よ甦れ!～

※トーク&ライブは、約1時間を予定しております。

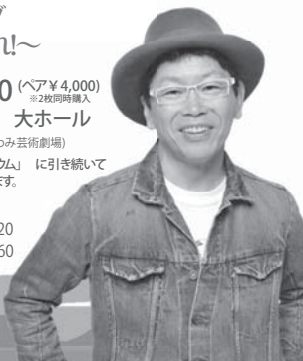
開演 17:00 (開場 16:30) 全席自由 ¥2,500 (ペア ¥4,000)
※2枚同時購入

会場 島根県芸術文化センター「グラントワ」 大ホール

主催：高津川SEA TO SUMMIT実行委員会・(財)島根県文化振興財団(いわみ芸術劇場)

【開場時間・お席について】全席自由席です。第1部環境シンポジウムに引き続き開催致しますので、お席についても第1部からのご参加をお勧めします。

お問い合わせ
高津川SEA TO SUMMIT実行委員会 tel. 0856-25-7220
島根県芸術文化センター「グラントワ」 tel. 0856-31-1860



【駐車場について】

- 当日の駐車料金は、本会場のみが予定されています。できるだけ公共交通機関や、近隣の公民館等の駐車場を利用の上、ご来場頂きますようお願いいたします。
- お車でお越しの方は、グラントワ駐車場、もしくは周辺の臨時駐車場をご利用ください。その際は必ずスタッフの指示に従ってください。

高津川 SEA TO SUMMIT 2010